

米俵よいしょ  
力自慢を競う

美郷で大会

地域の力自慢を競う「大俵かつぎ大会」が、美郷町宮内の田立建理根命神社前であった。町内外の36人が新米の詰まった俵を持ち上げ、会場を駆け抜けた。

男女や年齢別の8部門で、10〜60kgの俵を持って10mを走り、タイムを競うレース。途中で俵を下ろさず一気にゴールする参加者もあり、歓声を浴びていた。

60kgを持つ成年男子部門では、近くの団体職員菅沼宏樹さん(27)が優勝。「介護職場で腕力を鍛えた成果が出

新米が詰まった俵を持って走る参加者



た。連覇を目指す」と喜んでいた。  
地区の例祭を盛り上げようと住民有志が1991年から続けるイベントの一環。ことしで5回目となった。

中国新聞 2012年12月9日(日)

(第三種郵便物認可)



腕章を付け、パソコンを使って記事を書く「比之宮子ども記者クラブ」のメンバー

### 美郷情報任せて 子ども記者登場

美郷町比之宮地区をで公開する操作手順をブログで紹介する子ども学び、地元農家のサツも記者が8日、デビュマイモ掘りの記事を公開した。地元児童7人開した。地区であったが町嘱託職員「地域おこし協力隊員」から認認証を受け取り、最初成次第公開する予定。の記事をインターネット。比之宮では住民がUト上に載せた。情報発・インターン者確保へ地信を進めてU・イター城ホームページづくり者確保を目指す取りを進めており、ブログ組みの一環。  
この日、最後の研修集に応じた児童が10月があり、原稿をブログからパソコンの使い

### 比之宮地区をブログで発信

方、記事の書き方の研修を受けていた。  
今後は自主的に取材し、週1回程度更新する。大和小6年漆谷智恵さん(11)同町村之郷は「取材で川の生き物や花など、今まで見過ごしていたものに気付くことができた。ほかの人が知らない比之宮を書きたい」と意気込んでいた。  
子ども記者「比之宮子ども記者クラブ」のブログは<http://hinomiya-kids.jugem.jp/>  
(黒田健太郎)